



カケハシ・プロジェクト（米国） ラテン系若手リーダー招へいの記録

1. プログラム概要

【目的・概要】米国ロサンゼルス郡からラテン系若手リーダー3名が10月22日から10月28日までの日程で来日し、東京都、京都府、奈良県、神奈川県を訪問しました。高校視察、起業家や大学教授、研究者との意見交換、文化施設訪問を通じて日本の政治、経済、教育、文化などへの理解を深めるとともに、日米間のネットワーク強化を図ることを主目的として実施しました。滞在中は、日本の魅力を積極的に吸収し、SNS等を通じてプログラム中の体験や学び、訪問地の魅力を発信しました。

【参加者】米国のラテン系若手リーダー（社会人）合計3名

【訪問地】東京都、神奈川県、京都府、奈良県

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

10月15日（水曜日） 【来日前（渡航前）オリエンテーション】 事業目的・ミッション、日程説明、
渡航上の注意、感染症対策等
来日までの指定期間 【動画視聴】 日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム：

10月22日（水曜日） 羽田空港より入国
【来日時オリエンテーション】
10月23日（木曜日） 【意見交換】 株式会社ボーダレス・ジャパン
【視察】 東京都議会、東京都庁展望台
【学校交流】 森村学園高等部
【文化体験】 茶道体験・空手見学（森村学園）
10月24日（金曜日） 【講義】
「横浜市鶴見区の中南米コミュニティと多文化共生の取り組みについて」
講師：鶴見国際交流ラウンジ 小林 広子 氏
【視察】 衆議院憲政記念館
【意見交換】 公益財団法人日本国際問題研究所
【視察】 MIYASHITA PARK（Nose Shop 店舗他）
10月25日（土曜日） 東京都から京都府へ移動
【視察】 金閣寺、薫習館、清水寺
10月26日（日曜日） 【交流】 奈良県在住の日本人及び外国人との交流「NaFu! 国際交流 One day
Camp 2025」NPO 法人 国際交流ならふれあいの会
【視察】 伏見十石舟
京都府から東京都へ移動

10月27日（月曜日） 【視察】本所防災館
 【視察】千葉工業大学東京スカイツリータウン®キャンパス
 【意見交換】東洋大学 経済学研究科公民連携専攻 難波 悠 教授

10月28日（火曜日） 【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
 【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表
 成田国際空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム

	
10月23日【意見交換】 株式会社ボーダレス・ジャパン	10月23日【視察】東京都議会、東京都庁展望台
	
10月23日【学校交流】【文化体験】森村学園	10月24日【講義】「横浜市鶴見区の中南米コミュニティと多文化共生の取り組みについて」
	
10月24日【視察】衆議院憲政記念館	10月24日【意見交換】 公益財団法人日本国際問題研究所



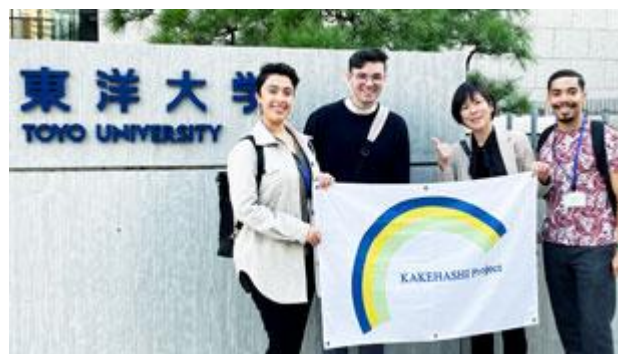
10月25日【視察】金閣寺、薫習館、清水寺



10月26日【交流】「NaFu! 国際交流 One day Camp 2025」NPO 法人 国際交流ならふれあいの会



10月27日【視察】千葉工業大学東京スカイツリータウン®キャンパス



10月27日【意見交換】東洋大学 経済学研究科公民連携専攻 難波 悠 教授



10月28日【報告会】



10月28日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 社会人

人との交流が最も楽しかったです。普通の観光では得られない機会ができたことをとても感謝しています。ビジネス、学校、政策における日本人の日常の経験を学ぶことができました。日本で暮らすということについてより深く知ることができ、幸運な体験ができたと思っています。

◆ 社会人

様々な視察先での出会いを心から楽しみました。直接出会えた人々から、日本の文化や政治、社会について学べたことは素晴らしい体験でした。いつもは、米国の政治、外交政策の視点を通して日本について学んでいますが、ニュースや政策の背後にある人物について学ぶことができました。

◆ 社会人

今回の経験は、充実していて、情報も多く、新しく何より楽しいものでした。この経験に心から感謝しています。特に印象的だった内容を選ぶとすれば、地元の人達との交流で自分たちが過去と現在の日本の生活について理解できたこと、学校交流で若者たちのエネルギーを感じたこと、そして様々な分野で卓越した専門家と深く意見交換できたことにより日本と米国の類似点や相違点に気づくことができたことです。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 視察先関係者

「ラテンアメリカやアジア出身の外国人の共存について学べたことが印象的だった」「米国と共通する課題も見られ、日本の多様化の進展に期待したい」との感想をいただけて、当館の取り組み内容や横浜市鶴見区の多文化共生の状況が伝えられたと思いました。米国の若手リーダーの方々と多文化共生の重要性という共通認識を持てたことはとても良かったです。まさに彼らに日米の架け橋になっていただくお手伝いができていたら幸いです。

また、意見交換ができて、米国での移民との共生を知ることができ、こちらにとっても学びの機会となりました。

◆ 交流先関係者

参加していたリーダーたちはそれぞれがビジネスセクターやロビイング活動など別の領域で働いており、彼らの活動を聞くことやディスカッションの時間など非常に勉強になりました。

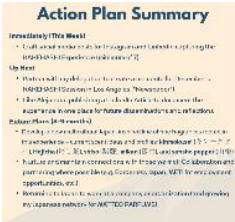
普段から6か国のメンバーが集まって働いている職場なので、英語を使う業務や国際的な意識はあったが、ビジネスを運営するようなユースリーダーとの接点が多いわけではないので、別の視点で事業を考えるきっかけになりました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

	
2025 年 10 月 25 日（Instagram） 社会人 憲政記念館で日本の政府について勉強しました。 全ての大学生の授業料無償に賛成です。	2025 年 10 月 25 日（Instagram） 社会人 日本国際問題研究所で素晴らしい研究者達にも出会いました。米国の高等教育施策や教育分野におけるテクノロジーについて話をしました。
	
2025 年 10 月 28 日 （鶴見国際交流ラウンジの Instagram） 「対日理解促進交流プログラム「ラテン系若手リーダー招へい陣」で米国の若手リーダー3 人が鶴見国際交流ラウンジに来訪し、「鶴見区の中南米コミュニティと多文化共生」についてお話をさせていただきました。」	2025 年 11 月 6 日（株式会社ボーダレス・ジャパンの Facebook） 「外務省の国際交流事業「カケハシ・プロジェクト」に協力 米国のラテン系若手リーダーとボーダレスの起業家たちが意見交換を行いました。 国や言葉が違っても、「社会をより良くしたい」という想いは共通。互いの活動を語り合う中で、新しい視点とつながりが生まれました。」

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、神奈川県、京都府、奈良県 全1グループ発表



【成果の発表】

今回のプログラムで、日本の社会や文化に幅広く触れることができ、米国とは異なる日本のユニークさを感じました。1000 年以上の歴史がある建築物など米国と歴史の長さが違い、霊的な感じさえ受けました。

【アクション・プラン】

- ・ 帰国後すぐ大学で日本をモデルに官民連携の施策に取り組みます。2026 年春に日本関連団体と共同で日本の新首相と米国の多国間外交発展についてイベントを開催します。秋にトランプ政権の外交に関するイベントに日本総領事を招待します。
- ・ 帰国後すぐ更にソーシャルメディアに今回のカケハシ体験をつづります。次に他の参加者と協力して 12 月のカケハシのために体験記を出します。3～9 か月かけて日本の素材を生かした香水を開発し、今回出会った起業家らと協力した事業をしたいです。
- ・ 今後、今回の体験をもっとインスタグラムに投稿し、LinkedIn や YouTube でも発信するつもりです。今回の訪問先とビジネスや研究、学生の交流などで今後も関係を続けたいです。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）